

入間市

狭山茶の産地として有名で、都内へのアクセスも良いベッドタウン。

〈男性たちがいきいき活躍するきっかけづくり〉  
いるまの男塾

誰もが暮らしやすい地域づくりを目指して、まずは集うことから始め、人と人がつながり、さらには日常的な困りごとを助け合うことができるようになるなど、それぞれの地域で様々な支え合いの取り組みが生まれています。  
このコーナーでは、協議体やSCが住民の「やりたい」という声に応え、企業や団体と協働しながら住民同士のつながりづくりや支え合いの実現に向けて取り組んでいる事例を紹介します。



コーヒーの淹れ方講座



浄水場見学会



第1層SC 中崎さん

「いるまの男塾」は、男性が地域を知り楽しく仲間をつくることを目的とした講座です。

第1層SCの中崎さんが、男性たちを惹きつける魅力的な講座内容を企画し、20人が参加しました。歴史発見、焼酒、コーヒーの淹れ方などの企画内容を見て直感で参加した方も。

最終回には、各地域の第2層SCも参加し、担い手を求めている地域の様子などを伝えました。振り返りでは、参加者の多くが口をそろえ「企画内容に満足」「新たな男性仲間ができたのでうれしい」「学びを活かし自身の地域にもう一度目を向け、活動していきたい」などの前向きな意見が交わされました。

中崎さんは、第1期メンバーのつながりの継続を支援することも、さらに多くの男性が活躍できるように第2期の開催も目指しています。

問い合わせ先 入間市社会福祉協議会 / TEL 04-2963-1014

春日部市 (牛島)

駅から近く住宅地が多い。国の特別天然記念物「牛島の藤」が有名。

〈地域の子どもたちを支援する取り組み〉  
わくわくの森



ペットボトルで作ったかざぐるま



竹を使ってお正月飾りを作ろう!



「わくわくの森」打合せ



習字が得意な方は、書初めの宿題を一緒に

「わくわくの森」は、夏休みや冬休みの時期に子どもたちが気軽に集まれる居場所です。60代〜80代の地域の方々が中心となって、企画運営を行っています。

第1層SCの阿久津さんが、支え合い担い手養成講座修了生から、子どもの居場所づくりがしたいと相談を受け、すでに活動していたグループに「つないだ」ことがきっかけで始めました。

地域の方々は、身近にあるもので工夫すれば遊べることを子どもたちに伝えたいという思いで活動しています。それぞれが得意なことを持ち寄り、ものづくりや昔遊び、手作りゲームなどを子どもたちと一緒に楽しんでいきます。

口コミにより、現在は20人近い子どもたちが参加。活動を通じて地域で声を掛け合うことが増えるなど、世代を超えた地域づくりが進んでいます。

問い合わせ先 春日部市社会福祉協議会 / TEL 048-762-1081



上下に腕を振って、  
介護予防にも  
効果的

この日は  
10人ほどの  
住民が参加

よろしくお願いします！



柔軟体操を  
お互いに  
サポート



## 志木市 (館・幸町)

子育て世代も高齢者も住み、緑もあり過ごしやすい閑静な住宅地。

# 〈地域に根差した社会福祉法人との協働〉 メープル保育園における 体操交流会

幸町にあるメープル保育園で、園児の体操教室に地域住民も参加する交流会が行われています。

第2層協議体で、この地域には体操できる場所がないことが課題となっていました。ちょうどメープル保育園でも地域のために何かできないかと模索しており、社協を介して第2層協議体に参加したことがきっかけで体操交流会が始まりました。

保育園の既存の取り組みに住民の方が参加する方法なので、保育園に必要以上の負担をかけることなく実施することができ、さらに第2層SCの高橋さんが間に入ることで保育園も住民も安心して参加することができます。

保育園では、食育などでも協働できないか検討されており、社会福祉法人の力を活かした取り組みとしてさらなる展開を目指しています。

問い合わせ先 志木市高齢者あんしん相談センター館・幸町／TEL 048-485-5610

## 所沢市 (東所沢)

昭和40年代にJRの駅開業とともに開発された市街地が広がる地域。

# 〈企業と地域住民をつなぎ、それぞれが出来ることを活かした地域づくり〉 おりづる会



メンバーと  
柳瀬地域包括  
支援センターの  
皆さん



折り紙制作  
の様子



制作物は  
各種イベントで  
飾られます

おりづる会

折り紙をみんなで楽しめる「おりづる会」は、友引の日に民間葬祭センターの一室で開催されています。名簿も名札もなく、来られる人なら誰でもウエルカム。口コミで参加者が増え、現在は10人程の皆さんが主体となって活動し、折り紙の腕前もプロ並みになっています。

第2層SCの倉田さんが葬祭センターの無料開放の情報と「何か手先を使った活動をしたい」という介護予防教室参加者と、折り紙の得意な活動者をつなげ、サークル立ち上げに至りました。

今後も、倉田さんをはじめ、柳瀬包括の皆さんが一体となって地域に向き、企業や団体とも協働しながら、住民のやってみたいをサポートしていきます。

問い合わせ先 柳瀬地域包括支援センター／TEL 04-2951-8887

鶴ヶ島市  
(鶴ヶ丘地区)

昭和40年代にできた住宅地。高齢化の伸び率は高いが、地域活動は活発。

# お手玉体操

〈共に笑い、汗をかき、お手玉でつながる地域づくり〉



体を動かせる場所が欲しいという声が住民から上がり、第2層SCの北堀さんが会場や協力者をマッチングし、お手玉体操が立ち上がりました。北堀さんの作成したチラシを民生委員・児童委員の方々が周知し、海洋センター（社会体育施設）で男性も含む約15人が参加しています。

歌に合わせてゴム付きお手玉を「握って、投げて、キャッチ」。また、みんなで輪になりお手玉回しをするなど、参加者ができる範囲で無理なく楽しく簡単にフレイル予防の体操をしています。

お手玉体操発案者の末成さんと運営者の皆さんを中心に、鶴ヶ丘地区の他にも市内5カ所で活動が行われており、お手玉が住民同士をつなぐツールになっています。（毎月第1・3月曜に開催）

問い合わせ先 鶴ヶ島市社会福祉協議会 / TEL 049-271-6011

さいたま市

政令指定都市で県庁所在地。圏域数も多く、その地域性も様々。

# 多様な情報発信

〈様々な方法でSCや活動を発信〉



さいたま市では、多様な地域性に対応するため、様々な方法で情報発信を行っています。

まずは圏域の共通の取り組みとして、行政のホームページに「各圏域の活動インフォメーション」や「いきいき活動リスト」を掲載。また、第1層SCが社協の広報紙で第2層SCを紹介したり、フォーラムを開催し、市内の活動をパネル展示することで「私も活動したい！誰に相談すればいいの？」などの問い合わせが来るなど、新たな担い手につながっています。

第2層SCも様々な工夫をしています。SC・協議体活動通信の発行や、協議体で作成した資源マップや交通マップを配布するほか、SNSを使ったリアルタイムな情報発信をしているSCもあります。第2層SC同士でそれぞれの取り組みを参考にし合うことで、圏域を超えた取り組みも広がっています。

問い合わせ先 さいたま市社会福祉協議会 包括・支総合支援センター / TEL 048-829-1925